

# 本能まちづくりニュース

第8号 平成13年3月25日発行



住みたいまち 育てたいまち 働きたいまち 本能

本能まちづくり委員会  
委員長 西嶋直和

## 元西陣学区の「まちづくり」を見学して

2月18日元西陣学区の「まちづくり」を見学してきました。元本能学区からの参加者は24名で、午前中「まちあるき」、午後「座談会」というスケジュール。午前中の「まちあるき」は、西陣まちづくりのブレーンの存在・宮本さん（仏大の先生）の先導で、一種の観光案内なのですが、我々にとっては、新しい発見でもありました。元西陣学区の広さは、町総数27ヶ町ですから、本能学区より



浜卯染工

やや広めと思われる。案内して頂いたところは

・浜卯染工さん 糸の染工場で、家に入ったとたん懐かしい染屋さんの匂いが立ち込めています。ご主人はまちづくり委員会の岡本さん、染の色合いが命だそうです。

・山名宗全邸跡の石碑 古いまちなみの間にある。山名宗全は「応仁の乱」の西軍の総大将。石碑の更に奥の方に、何か謎めいた、人が入れない空地があるそうです。かの乱のとき、東軍の武将の首を九つ程、大八車で運んできた記録があるが、後は不明。或いは

・本庄家 桂昌院（家光の側室・綱吉の生母）の生家といわれており、元「お玉の局」と称されていたことから、「玉の輿」の語源となった。

・三上家路地 昔の織子さんの社宅。巾2m程の路地の両側に5軒づつ程、古い木



新木造3階建群

造2階建が連なる。これと対称的に、新しい木造3階建ての1戸建住宅群があちこちに在る。今後の町並みの象徴的な課題。

・本隆寺 日蓮宗の大きな寺。開創時は六角西洞院にあったとの事。

・岩上神社 本尊は高さ1.7mの岩。

・雨宝院 緑色の花の咲く桜あり。開花時期は遅い。一度見てみたい。

・巽家 古い大きな町家。美術織物を展示販売。割に安い。何人かは買い物をしていました。

・妙蓮寺 法華宗の大きな寺。

・縁切り地蔵 路地の奥まったところにある。振られた男が「三下り半」を無理やり書かされたか？



本隆寺境内



本庄家

まだ他に宝鏡寺なども在るのですが、時間の都合で割愛。以上で「西陣のまちあるき」は終わり、午後は西陣まちづくりの役員さん方との座談会をもちました。西陣側の出席者は会長の吉川さんの他、宮本さん、文字さん、それにまちづくり委員会の岡本さんです。

先ず、まちづくりの活動のきっかけは、小学校の跡地をどう活用するかを話し合った事から始まりました。そこで住民の総意を求めるため、アンケートを実施しました。そこから出てきた方向づけは、住民の生命・財産を守り、安全で住みよい町を目指すという事でした。安全については、消防団が西陣の自治活動の中心であり、その延長線上にあります。住みよいとは住める事であり、活発な経済活動が可能な事でもあることから、小学校跡地は観光産業を振興する施設を目指そうという事になり、京都市の基本方針にも反映されました。

こうして平成7年に、西陣住民福祉協議会のもとに「西陣まちづくり委員会」がスタートしました。全町内に呼びかけ、4つの部会を立ち上げました。

1. 発展を考える部会 地域全体の金儲けを考える。

2. 環境を考える部会 住みよさ、美化、マンション交流がテーマ。
3. ふれあいを考える部会 イベントを通じた交流。
4. 商店を考える部会 商店独自の発想に期待。

昔はハタ音がしょっちゅうしていた町でした。大宮の商店街には映画館もあり、京都一ネオンが輝いていました。それは昔、今は人通りも少なく車ばかりが多い、ということでした。町づくりのモットーは、楽しく面白い事は何でもやろう、但し二番煎じはしない事、だそうです。イベントの名称として「西陣わっしょい」と名づける事にしました。「学区民みんなが輪になって担ぐまちづくりを」という意味です。「学区民の手作り」「まちの活性化につなげる」「外との交流に目を向ける」を特長としています。



座談会

「西陣わっしょい」はその後、年2回の割で7回催されました。その内容を一々説明して頂きました。中々感動的でアイデア豊富な多彩なイベントです。外国や大学との交流もあるようです。新旧住民が交流していくことが、いま取り組んでいる課題です。会長さんは「旧住民の若い人に積極的に参加してもらおうよう心掛けており、企画からやってもらうのが、積極的に参加してもらおうコツで、将来は若い人に引き継いで行ってもらう事を念願している」と言っておられました。「旧住民の若い人」これがこれからのまちづくりのキーワードのような気がします。

後半の質疑応答では皆一通り質問したのですが、「小学校へ行っている子供さんのお母さんは、高倉小学校の事に積極的ですが、元学区意識が薄れてきているようです。西陣ではどんなでしょうか。」については、西陣の会長さんは「その子供達が大きくなった時は、西陣中央学区の人であって、西陣学区はその中の一地域になっているのでは。それが時の流れであり、我々もそれを見据えて対処すべきでしょう」と言うような事でした。

町並みについては一寸諦めているようなところがあります。ただ東の方にマンションが建って、学校の屋上から大文字が見えなくなったので、そのマンションのどてっ腹に穴をあけて、大文字が見えるよう要望すれば良かったなあ、という笑い話もありました。一方、堀川に水を流したい、今出川通に路面電車を走らせ

たいという夢も実現に向けて動いているようです。

以上、本能のまちづくりの活動にとっても、非常に示唆に富んだ有意義なお話が聞けました。今後は西陣の良いところは虚心に吸収し、本能まちづくりを盛り上げて行きたいと思いました。西陣の人達との今後の協力もお願いしつつ、お互いの健闘をお祈りして帰途につきました。(〇井)

本能まちづくり委員会の次回開催日

平成13年4月2日(月)午後7時より

ばしょ：本能自治福祉会館2階 小川通蛸薬師下ル

当日飛び入り  
大歓迎!

本能まちづくり委員会に興味のある方 西嶋直和 (TEL221-6826) まで

**馬場染工業さんが公開工房「思い出工房」を始められました!**  
**柳水町の馬場染工業さんが黒紋付の染工場を公開、黒染めの工程をじっくり見せていただけることになりました(2001/2/1から)。**ほかに黒シルクや友禅技術を生かした「手づくり工房」も開設されました。袱紗、Tシャツ、ハンカチ他自分で染色が体験でき、家紋描きコーナーもあり、自分で描けるよう指導しています。  
**また柳水町あたり一帯の湧き水(柳の水)で点てたお抹茶を楽しんでいただけます。**

一度お立ち寄りになられてはいかがでしょうか。

**思い出工房 所在地:西洞院通三条下ル 75 番地(2 階)**

**連絡先:221-4759**

**URL:<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/kurozome/>**

**公開時間:AM10:00~PM5:00**

**(予めご連絡を御願いたします)**



大正時代の馬場染工の図

**編集後記** 中川会長さんのまちづくりについてのお話から、多くの学区民をひっぱる情熱と、次の人材を育てる温かさが伝わってきました。本能にもこのような雰囲気があり、私達も頑張れそう、と、心強く思いました。(N村)  
 21世紀最初のニュースです。本能校前の桜、今年も皆の目を楽ませてください。本隆寺が西洞院六角にあったとは、これもなんかの縁でしょう。(M.O)